

市町村指定文化財取材票<表>					
取材日	2023年	3月	15日	(記入者) 垣内博久	
取材参加者	石井	垣内	久門	島田	鶴田
	本井				
取材対象先	天理市：蔵福寺の木造観音菩薩立像				

所在地	天理市蔵之庄町502				
所有者(取材対応者)名	北川全宏住職(個人情報守秘)		連絡先 0743-65-0197		
	PCアドレス				
取材申込	申込先・行政名など：蔵福寺				
市町村指定文化財	彫刻	1躯	木造観音菩薩立像 1981(昭和56)年11月7日指定		
	建造物	棟			
文化財指定理由	平安後期の櫓の一本造りで、やや細身の均整のとれた体軀が特				

文化財の状況		
防火対策	設備・対策・点検・通知方法など	記入者の感想
	火災報知機を設置。住職は寺の敷地内に居住しているため速やかに対応は出来る。	特になし。
獣害対策	被害の有無、対策など	記入者の感想
	獣害の被害はなし。対策も特にしていない。	特になし。
管理者の全体的要望・提案など	特になし。	
取材を終えて感じた文化財保護状況の全体的今後の課題(修復、維持、管理・環境など)		
左肘から先がとれているので修復が望まれる。後補の彩色が施されているが若干稚拙と思われるのが残念である。		

市町村指定文化財取材票<<裏>>

取材日	2023年	3月	15日	(記入者) 垣内博久	
取材参加者	石井	垣内	久門	島田	鶴田
	本井				
取材対象先	天理市：蔵福寺の木造観音菩薩立像				

<写真撮影許可済み>

文化財指定名 木造観音菩薩立像	
本堂	木造観音菩薩立像
	
木造観音菩薩立像 (お顔など)	欠けた左肘
	
文化財の由緒・説明板の有無など	記入者の感想
<p>像の高さ161.5cm。檜の一木造り、等身の立像で11世紀平安時代の作。欠失する左肘より先及び両足先をはぎつける以外はすべて一材から彫りだされている。後補の彩色が残っている。頭上面が付された跡はないが、一時期長谷寺式十一面観音として祀られていた可能性があるという。寺の本尊は阿弥陀三尊で当該仏の由来は不詳。説明板等はない。</p>	<p>細身で均整の取れた素朴な立像である。左肘を修復して別に祀っていただきたい。</p>